

1. 科目名 (単位数)	教育課程論 (中等) (2単位)		SSMP1339 SNMP1339 SCMP1339 SBMP3339 EDTS1103 EDTS3303 SJTC1402
2. 授業担当教員	垣崎 授二	3. 科目番号	
4. 授業形態	講義、ディスカッション、発表、グループ学習等	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	教育学概論 (中等) の単位を取得してから履修することが望ましい。中学校教諭、高等学校教諭の資格取得を目指す者とする。		
7. 講義概要	<p>教育課程とは、教育機関 (学校) がその教育目標 (学校の教育目標) を達成するために児童・生徒に提供する教育内容と学習経験の組織である。本講義では教育課程について、その意義や編成の方法を理解するとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解することを目的としている。</p> <p>まず教育課程の思想や教育課程編成の方法原理・理論を取り上げ、教育課程を編成する上で基本的な概念について学習する。そして学習指導要領における教育課程編成の目的について理解を深め、学習指導要領の変遷の歴史を辿り、各時代における主な改訂内容と社会的背景について学ぶ。さらに学習指導要領に規定するカリキュラム・マネジメントについての意義や重要性を理解し、教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握することの大切さについて学んでいく。</p> <p>これらの学習を通して、学習指導要領の基本的方向について理解し、教師として必要となる資質・能力の基礎を養う。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育課程の思想や理論、教育課程と教育評価の関係を学ぶことによって、教育課程編成の方法に関する基本的な用語や概念を理解し、説明することができる。</li> <li>2. 学習指導要領における教育課程編成の目的や学習指導要領の変遷の歴史を辿り、各時代における主な改訂内容と社会的背景について学ぶことを通して、教育課程の意義を理解することができる。</li> <li>3. 学習指導要領に規定するカリキュラム・マネジメントについての意義や重要性を理解し、教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握することを学び、学校の教育課程全体を評価し、マネジメントする上での基本的な知識を身に付け、活用することができる。</li> </ol>		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<p>指示された予習課題や探究的課題に主体的に取り組むこと。対話型の学習により、理解を確実にすることで問題解決に対する力量を養うように努めること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 事前学習として教科書の該当箇所を読み、分からないところをチェックしておく。</li> <li>2) 毎時間の授業後感想の提出。</li> <li>3) レポート課題2つ 中間レポート (800字) 期末レポート (800字) *レポート課題は授業の中で提示する。</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 田中耕治・水原克敏・三石初雄・西岡加名恵『新しい時代の教育課程 第5版』有斐閣アルマ、2023年</p> <p>【参考資料】 中学校学習指導要領解説 総則編 (平成29年文部科学省)・『教師の仕事』三恵社2024年 高等学校学習指導要領 (平成29年文部科学省)</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程編成に関する基本的な用語や概念を理解することができたか。</li> <li>・学習指導要領における教育課程の意義を理解することができたか。</li> <li>・学習指導要領に規定するカリキュラム・マネジメントについての意義や重要性を理解することができたか。</li> </ul> <p>○評定の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平常点 (積極的参加度・授業態度・発表・発言等) 30%</li> <li>・課題 (中間レポート・ワークシート等) 30%</li> <li>・期末評価 (レポート・試験等) 40%</li> </ul>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>皆さんが中学校・高等学校の学校段階で積み重ねてきた「授業体験」を振り返ってください。皆さんが受けてきた授業の体験とこの授業での学びを結びつけ、地域や生徒の実態を反映させた「教育課程」について考えることができる教師をめざしてください。</p> <p>【学生に期待すること】</p> <p>受講生の皆さんは、上記のような目的を達成するために下記の内容に留意してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①教師と受講生、受講生同士のコミュニケーションが学びの質を高めます。グループワークには積極的に取り組み、課題意識をもって臨んでください。</li> <li>②授業に臨むにあたって無断欠席、遅刻、早退、無断退席をしないでください。(欠席、遅刻、早退をした場合は、その理由を必ず教員に書面にて報告してください。正当な理由であっても、必要な時間数に不足する場合は不合格となります。)</li> <li>③明らかに授業態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行います。指導後も授業態度の改善が見られないと判断された場合、試験の答案内容の如何にかかわらず、不合格となります。</li> <li>④授業中、飲食、私語、居眠りはしないでください。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	初回講義時に通知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション - 教育課程を学ぶ意義について	事前学習	教科書「序章」を読んでおく
		事後学習	教育課程を学ぶ意義について自分なりに考

			えをまとめておく。授業后感想の提出。
第2回	学習指導要領における教育課程の意義 「前文」と学習指導要領	事前学習	事前に配布した資料を見ておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションの内容をまとめておく。授業后感想の提出。
第3回	近代日本の教育課程の歩み	事前学習	教科書「第1章」を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションの内容をまとめて、授業后感想の提出。
第4回	現代日本の教育課程の歩み - (1) 学習指導要領の変遷	事前学習	教科書「第2章」1、2を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションの内容をまとめて、授業后感想の提出。
第5回	現代日本の教育課程の歩み - (2) 学習指導要領の変遷	事前学習	教科書「第2章」3、4を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションの内容をまとめて、授業后感想の提出。
第6回	現代日本の教育課程の歩み - (3) 学習指導要領の変遷	事前学習	教科書「第2章」5、6を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションの内容をまとめて、授業后感想の提出。
第7回	現代日本の教育課程の歩み - (4) 現学習指導要領の基本的方向性	事前学習	教科書「第2章」7、8「第3章」を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションの内容をまとめて、授業后感想の提出。
第8回	教育課程の編成及び実施 (1) 教育法規との関連	事前学習	教科書「第5章」1、2を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションの内容をまとめて、授業后感想の提出。
第9回	教育課程の編成及び実施 (2) - 編成の実際 -	事前学習	事前に配布した資料を見ておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションの内容をまとめて、授業后感想の提出。
第10回	カリキュラム・マネジメントの実際 (1) 教育課程の実施・改善	事前学習	教科書「第6章」を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションの内容をまとめて、授業后感想の提出。
第11回	カリキュラム・マネジメントの実際 (2) 教育課程の実施・改善	事前学習	教科書「第6章」を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションの内容をまとめて、授業后感想の提出。
第12回	学校教育における今日的課題への挑戦 (1)	事前学習	教科書「第8章」を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションの内容をまとめて、授業后感想の提出。
第13回	学校教育における今日的課題への挑戦 (2)	事前学習	事前に配布した資料を見ておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションの内容をまとめて、授業后感想の提出。
第14回	社会に開かれた教育課程の実現	事前学習	事前に配布した資料を見ておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションの内容をまとめて、授業后感想の提出。
第15回	総括 学習のまとめ	事前学習	事前に配布した資料を見ておく。
		事後学習	授業内容やディスカッションの内容をまとめて、授業后感想の提出。
期末試験			